



折井課員

第126回

今回の清掃知識+1はフラットモップについて紹介します。フラットモップは各種用途別に種類があり、場所や用途に応じて使用することができます。また、房モップ（糸モップ）にはない長所があるため、作業の効率化や美観の向上につながる可能性を秘めています。

①拭き取れる範囲が広い

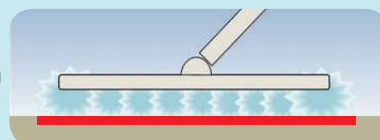


房モップ（糸モップ）は赤枠の部分でのみ汚れを拭き取るため、拭き取れる範囲が狭いんだ。

フラットモップは汚れを拭き取る範囲が広く、広い範囲をムラなくキレイに拭き上げることができるよ。



②マイクロファイバーで汚れをキャッチ



マイクロファイバーの超極細繊維が細かなチリやほこりをキャッチするよ。

③着脱が簡単



立ったままでも足で着脱することが可能だよ。

※メーカー推奨



④お客さまからの印象がいい



お客さまからフラットモップの汚れている面が見えにくいよ。



⑤洗濯が楽に



干すときにほぐすのが大変だ！

房糸をほぐす手間や干し場所の確保が大変。また、洗濯機で一度に洗える数に限りがあります。



干すのが簡単！

フラットモップは干す際に場所を取りません。また、薄いため房モップに比べ一度に多く洗濯できます。

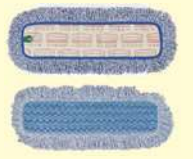
各種フラットモップの用途について

+1

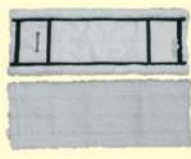


- ・フラットモップは用途に応じてさまざまな種類が製品化されています。
- ・アタッチメントとラグをマジックテープ式と固定式に分けて紹介します。

マジックテープ式

ホルダー類		・CTスプレーフラットモップコンプリート青（東栄部品） スプレータンクから洗剤噴霧が可能なフラットモップ用ポールです。ノンスリップモップなどのフラットモップを取り付けることが可能です。
		・FXライトブレードホルダー45（テラモト） ノンスリップモップ、シェニールモップ、ウェットパッドフリンジ付、スレンダーラグなどのフラットモップを取り付けることが可能です。
ラグ		・プロテックススレンダーラグ BF45（山崎産業） 防滑床用フラットモップの標準モデル。
		・シェニールモップ（アムテック） 防滑床対応のフラットモップ、スレンダーラグ BF45と比較して、抵抗がより強い床にも対応。
		・ウェットパッドフリンジ付（ラバーメイド） 水拭きと除塵を一緒に行うことができる商品です。

固定式

	・ワンタッチワイドフレッシュモップ（山崎産業） 房モップの柄に装着できるホルダー。マジックテープ式ではなくしっかりと固定できるので便利です。
	・スムーズラグ（山崎産業） 平滑床に対応した製品です。
	・スーパー吸水ラグ（山崎産業） 吸水性が高い製品です。